

山形県におけるがん教育の推進について



山形県教育庁スポーツ保健課
学校保健担当 主査 菅井 麻紀

1

山形県教育委員会におけるこれまでの取組

子どもの健康づくり連携事業における がん教育総合支援事業

事業		内容
H12～H20	①精神保健・性に関する相談事業	「性といのちの学習」の手引き作成（H18）
H21～H23	②子どもの健康を守る地域専門家 総合連携事業	「山形県子どもの心とからだの健康プラン」 作成 ★専門医派遣事業の実施
H24～ H28～	③子どもの健康づくり連携事業 ④がん教育総合支援事業	教職員のための指導資料「性に関する指導」 作成（R3） ★地域の専門医との連携推進 ★県内におけるがん教育の推進

2

子どもの健康づくり連携事業

【現代的な健康課題】

- 1 感染症への対応
- 2 メンタルヘルス問題
若者の自殺予防への対応
虐待、いじめ等への対応
- 3 性に関する健康問題
- 4 喫煙・飲酒・薬物乱用防止
- 5 アレルギー疾患
- 6 生活習慣病、生活習慣の乱れ
肥満・ゲーム依存等
生活習慣病への対応
がん教育

1 【専門医の派遣事業】

子どもの健康課題を抱える学校に専門医を派遣し、児童生徒の健康問題に対する正しい知識の理解を深める。

【専門医の派遣依頼内容】

- ・いのち・性に関する内容
- ・喫煙飲酒薬物乱用防止
- ・精神衛生・特別支援教育に関する内容
- ・生活習慣づくり
- ・がん教育

2 【がん教育総合支援事業】

県内でのがん教育推進により、児童生徒のがんにかかわる正しい知識の理解とがん患者共生の観点からいのちの教育を深めていく。

3

令和4年度山形県がん教育総合支援事業

学習指導要領において、中学校及び高等学校の内容にがんについても取り扱うことが明記された

背景

第三期がん対策推進基本計画（平成29年度～令和4年度）
「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」
山形県誰もががんを知り、県民みんなががんの克服を目指す条例
（平成28年12月27日公布・施行 山形県条例第60号）

「全ての県民が、がんを知り、がんを防ぎ、がんと向き合い、
がんと共に生きていくことができる社会の実現を目指す」

<事業の目的>

学校における「がん教育」の内容や方法について、推進校での授業実践や指導者・外部講師研修会の開催により、学習指導要領に対応した効果的な「がん教育」のあり方を検討し、県内各学校でのがん教育の推進を図る

4

令和4年度山形県がん教育総合支援事業

① 【がん教育推進協議会の設置】
がん教育の在り方・推進の検討
年2回開催（7月、1月）

② 【指導者・外部講師研修会の開催】
がん教育の実践に向けた研修会
（令和4年10月14日実施）
＜対象＞
学校の教員（小・中・高・特支）、保健主事
養護教諭、管理職、学校医、医療関係者
がん経験者等
＜内容＞
・外部講師による講演
・推進校実践例の紹介

③ 【推進校での実践】
健康教育、いのちの教育に位置づけた「がん教育」の在り方
＜対象校＞
【高 校】天童高等学校、北村山高等学校
【中学校】河北中学校、長井南中学校
＜内容＞
・外部講師を活用しての講演
・保健分野（中）、科目保健（高）においてのがん教育

【健康福祉部との連携】
子どもから大切な家族へ、検診受診を促すメッセージ事業を実施



5

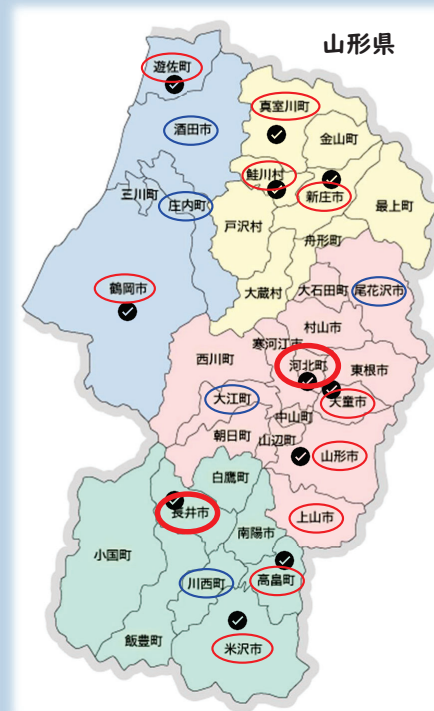
推進校の選定について

① 毎年4校を選定
中学校2校、高等学校2校

② 全ての市町村での取組を目指す

○ ……実施済中学校
○ ……実施済高等学校

③ 学校の特性や規模、地域の実情等に応じて推進校を選定



6

令和4年度 推進校での取組に向けて

- 4～6月
- ① 推進校への事業説明および日程調整
 - ② がん教育に関する推進委員と連携した外部講師への協力依頼
 - ③ 学校のニーズの把握（調査）
- 講演会実施の1ヵ月前
- ④ 事前の共通理解（県教委⇄外部講師）
（県教委⇄推進校）
 - ⑤ 外部講師2名の同時派遣
中学校（がん専門医/がん専門看護師）
高等学校（がん専門医/がん経験者）
- ⑥ 授業の実践は
⑤ 講演から2週間程度で実施
- まとめ
- ⑦ 事後研修会（振り返り）

7

★実践Ⅰ 長井市立長井南中学校

時間	内 容
0	事前アンケート
1	外部講師による講演 日時：令和4年7月13日 対象：2年生
2	
3	授業実践 日時：令和4年7月28日 対象：2年3組
4	事後アンケート

★外部講師による講演会（中学校）

『緩和ケアの観点から「がん」、そして「いのち」を学ぶ』

時 間	学習内容・学習活動
導 入 (5分)	講演内容・前時の振り返り 病気の早期発見に関する〇×の質問に答えてみよう
展 開 (35分)	「生活習慣病やがんを早期発見し、回復を早める方法を学び、その大切さを伝えよう」 ・日本ではなぜがん検診の受診率が低いのかを考える ・受診しない人の理由も踏まえて、受診率を上げるための対策を考える
まとめ (10分)	・家族や大切な人に、受診の重要性を伝えるメッセージを作成する



8

★実践2 河北町立河北中学校

時間	内容
0	事前アンケート
1	外部講師による講演 日時:令和4年11月17日 対象:2・3年生
3	授業実践 日時:令和4年11月22日 対象:3年1組
5	事後アンケート

★外部講師による講演会（中学校）

『緩和ケアの観点から「がん」、そして「いのち」を学ぶ』

時間	3・4時間目 学習内容・学習活動
導入 (5分)	講演内容・前時の振り返り 本時のめあてを確認
展開 (35分)	『河北町がん予防日本一を目指す』ためのメッセージを考えよう ・河北町のがん検診率や町の取り組みを知る ・河北町民にがん予防日本一を目指そうと思ってもらえるようなメッセージを考える
まとめ (10分)	・自分で考えたメッセージを、グループや全体で発表する ・自分のこれからの生活についてまとめる



9

★推進校における「がん教育」を実施する上で大切にしていること

1 「外部講師講演会」について

(1) ねらいの設定について

- ①がんについて、専門的な内容を正しく理解することができるようにする
- ②健康や命の大切さについて、主体的に考えることができるようにする

講師2名同時派遣の利点

- 1 指導形態の工夫
学校全体で行う場合／学年全体で行う場合／学級単位で行う場合等に対応
- 2 発達段階をふまえた指導の工夫
講師2名の連携による多角的な視点から理解を深める＝生徒を惹きつける展開の工夫

事前の打合せ内容

- (1) 機器関係の準備（スクリーン、プロジェクター、スピーカー等）
- (2) 講演概要、講師の確認と講演会の全体進行、講師紹介の依頼
- (3) 講演の際の留意点等（生徒の事前把握）
- (4) 感染対策について（座席の配置、換気等）
- (5) 授業実践に向けた打合せについて（学習指導案の確認他）

！事前に確認をお願いすること！

- ・御両親や御祖父母、御兄弟など親族のがんを要因とする世界を経験している生徒がいないか
- ・児童生徒やその御家族等にごがん患者がいないか
- ・がんに限らず、難病を罹った児童生徒や御家族がいる生徒がいないか

- ・どのような配慮が望ましいかは学校が判断
- ・事後のフォローアップを依頼

10

★外部講師による講演会

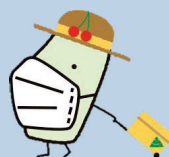
<テーマ>

『緩和ケアの観点から「がん」、そして「いのち」を学ぶ』



<内容>

- ・いのちの誕生（生まれてくる奇跡）
- ・残された時間があと少ししかなかったら…
- ・がん患者が抱える思い
- ・緩和ケア科で出会った患者の生き方
- ・年齢とがん
- ・がんの予防法
- ・がんの治療方法
- ・検診の必要性
- ・大切な人をがんから守るために



11

講演後の生徒の声

がんという病気はすぐ近くにあり、誰でもがんになるリスクがあることがわかった。日常生活のちょっとした行動でがんになるリスクが上がるので、生活面ではしっかりしていきたい。（中2男子）

命は何億分の一の奇跡なんだと思った。あたりまえを大切にしたいと思う。（中3女子）

がんをとたかうための治療には、手術やロボット手術などがあると初めて知った。病気と向き合う時は、検診をしっかり受ける、あまり怖がらない、情報をしっかり集めることが大事だということが分かった。（中2女子）

がんについて詳しく知れたというのがあるが、何よりも大事な物や人について考えるきっかけになった。自分の大切な物や人を守るために、正しい知識を持ち生活していきたい。（中3男子）



自分の大切な人をがんから守るために、がんについて調べてみたいと思った。ネットの情報に惑わされず、正しい情報を見極めたい。（中2女子）

がんは治らない病気、少しの期間しか生きることができない病気だと思っていた。今は2人に1人がかかってしまうけれど、治療法も増えている。でもかかりたくはないと思った。（中2男子）

治療にとっても長い時間がかかり、怖い病気だと思った。また、意外と身近で、食生活やストレスなど原因がたくさんあることを知った。（中3女子）

12

★推進校における「がん教育」を実施する上で大切にしていること

2 「授業実践」について

- (1) 外部講師による講演内容と関連した授業内容の組み立て
- (2) 学校の実情や地域の健康課題等に応じた学習指導案の作成

がんを扱うことを通じて、ほかの様々な疾病の予防や望ましい生活習慣の確立を含めた健康教育の充実を図る。

がんの正しい知識を理解する

がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深め、必要な生活行動やがんの予防について、自分の知識や経験、資料等を基に、選択すべき行動を考えたり判断することができるようにする

自他の健康と命の大切さに触れ、共に生きる社会づくりを目指して主体的に学習できるようにする

13

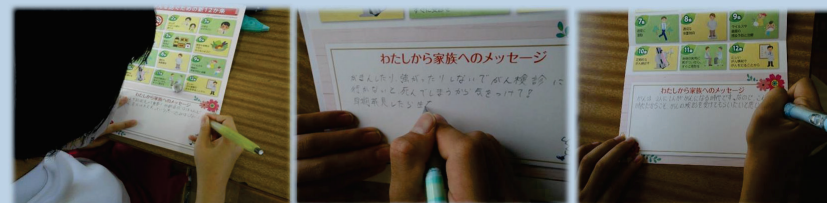
<授業風景① 長井南中>



がん検診受診メッセージカード



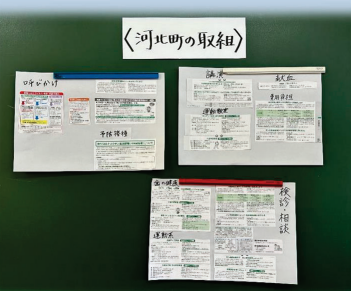
健康福祉部「子どもから大切な家族へ、検診受診を促すメッセージ事業」と連携した授業の実践



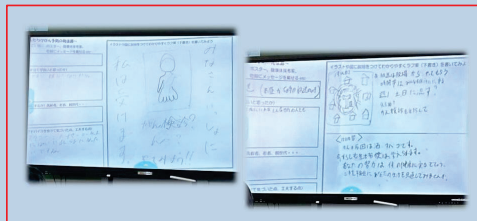
14

<授業風景② 河北中>

河北町での健康の取り組み



地域の健康への取り組みや、総合学習「地域探訪」と関連づけた保健授業(3年生)での実践



15

山形日和。



山形県がん教育総合支援事業を実施する上で大切にしていること

- 「子どもの健康づくり連携事業」と連携しながら、がん教育推進事業を展開していくこと。
- 県内全ての市町村でがん教育の推進を図るため、推進校選定には、連続して同じ地域の学校にならないようバランスよく計画的に配置すること。
- 外部講師講演会での内容をふまえ、相互に関連した授業を行うことで、生徒に「自分ごと」として健康課題を認識させていくこと。
- がんについて、正しく理解することができるようにするとともに、健康やいのちの大切さについても主体的に考えることができるようにすること。
- 医師、看護師、がん経験者等外部講師の協力を仰ぎながら、学校の特性や地域の状況、また生徒の発達段階に応じた多様な指導形態・実施方法を模索していくこと。

16



❖ 広報活動、取り組み例の紹介

「山形県がん教育総合支援事業」の実践概要、取組例等を県のホームページ他で紹介する。

❖ 外部講師リストの作成

県内の関係機関と連携しながら、県内医師やがん経験者等、外部講師の情報把握に努める。

❖ 教員、外部講師の指導力向上

外部講師研修会は、県内の健康教育研修会を兼ねて実施している。外部講師の人材確保とともに、教員の資質ならびに指導力向上を目指し、学校全体でがん教育を推進していく体制を構築する。

❖ 推進校での取組み

単年度またクラス・学年内での取り組みで終わることのないよう、特別活動や総合的な学習の時間、PTA活動、学校保健委員会等につながるような指導や周知に努める。



ご清聴
ありがとうございました。